もくじ

月刊絵手紙2026年12月号

巻頭　日本絵手紙協会公式グッズのお知らせ　01
古拙微笑　04
山田喜代春の詩画世界　05
特集　染色家 菅原匠の線　18
登坂和雄の一語一絵〈線〉　20
インタビュー 俳人 夏井いつきさん〈後編〉　26
柳 宗悦の眼に学ぶ　白土慎太郎　28
書の脇道を歩いてみれば　中村信宏　30
中川 越のことばの旅　31
木もれ日「定年後の大変身」　神津和喜　32
読者投稿ひろば　テーマ「空をかく」　46
自由絵手紙／なんでも100字／活動報告　48
essay アーサー・ビナード　50
誌上レッスン 絵手紙教室　◎小池邦夫の絵手紙教室「藍風居訪問記」　60
◎兼岩幸恵の小さくても一歩　63
欠点を個性に変える　◎前野郁子の実るように咲くように　絵手紙で変わった私　踏み出す勇気を次の誰かへ　62
予告　絵手紙友の会全国大会in富山　◎通うたのしみ、学ぶワクワク！「絵手紙教室 講評拝見」　節気を感じて「夢見る暮らし」　65
〈日本絵手紙協会からのお知らせ〉　66
〈受講生募集中〉講座のご案内　あなたの街の絵手紙情報〈展・体験〉　展覧会のご案内　68
2026年度 公認講師申請を希望する皆さまへ　投稿の募集要項　70
小池邦夫絵手紙美術館ニュース　72
栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより　74
日本絵手紙協会・推薦教材　76
ボランティア部からのお知らせ　77
日本絵手紙協会へのアクセス　78
「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記　79
『月刊絵手紙』定期購読のご案内　80
ご注文方法

次号予告　絵手紙でワクワク、見つけた！

日本絵手紙協会の公式ホームページ

公式Instagram etegami_society

公式X（旧Twitter） @Etegami_Society

〈表紙の絵手紙〉佐賀平野：野田美千代（佐賀）　旧堺燈台：木村陽子（大阪）　夕陽：山田みちよ（東京）

Hotな話題

絵手紙クリップ

記・『月刊絵手紙』編集部

オープンスペースを開催しました！ in東京事務局



10月14日、気持ちのよい秋の１日、初めての試みとして、東京事務局で「秋のオープンスペース」を開催しました。集まった皆さんは、「羊毛フェルトのひつじ作り」や「拓本スケッチ」など、それぞれ思い思いの時間を楽しまれ、会場はたくさんの笑顔であふれました。

羊毛フェルトコーナー



みんな真剣にちくちく。

拓本コーナー



じっと見つめてスケッチ。「実物はこんなに大きいんですね！」の声も。

絵手紙コーナー



娘さんと一緒にご参加の佐藤千志子さん（右奥）は愛知から。

12月も開催！ オープンスペースのご案内

会ってしゃべってつながろう

浅草橋で会いましょう 絵手紙の輪！

菅原匠さんの作品とハガキを一部展示！

講座でも絵手紙教室でもない新しい集いの場。この日、このときに集まった皆さんとの出会いを大切に、絵手紙のことなどアレコレおしゃべりしませんか？

＊参加無料・予約不要・どなたでも・飲食OK





作品数はわずかですが、菅原さんの線をぜひご覧ください。

日時：2026年12月3日（木）　午前10時30分～午後1時30分　時間内出入り自由

場所：東京・絵手紙ホール（日本絵手紙協会 東京事務局）　＊77頁地図参照

会場には絵手紙道具のご用意の他、拓本をスケッチできるミニコーナー、ひつじのモチーフ手作りコーナー（こちらのみ有料／詳細下記）なども併設予定。

手のひらサイズのひつじ



羊毛フェルトで作るひつじのモチーフ

Xmas モチーフも選べます

・参加費／500円（材料代込・モチーフひとつにつき）
・12月3日のオープンスペース内のコーナーにて随時

11月号49頁で紹介している「ひつじのモチーフ」を作ってみませんか。ちくちくと羊毛をさして無心になれる時間です。

＊材料がなくなり次第終了となります。混み合った場合、お待ちいただくことがあります。



所要時間 40～60分程度

次回は2027年2月3日（水）絵手紙の日に開催予定。詳細は1月号にて。

どうぞ毎月お楽しみに



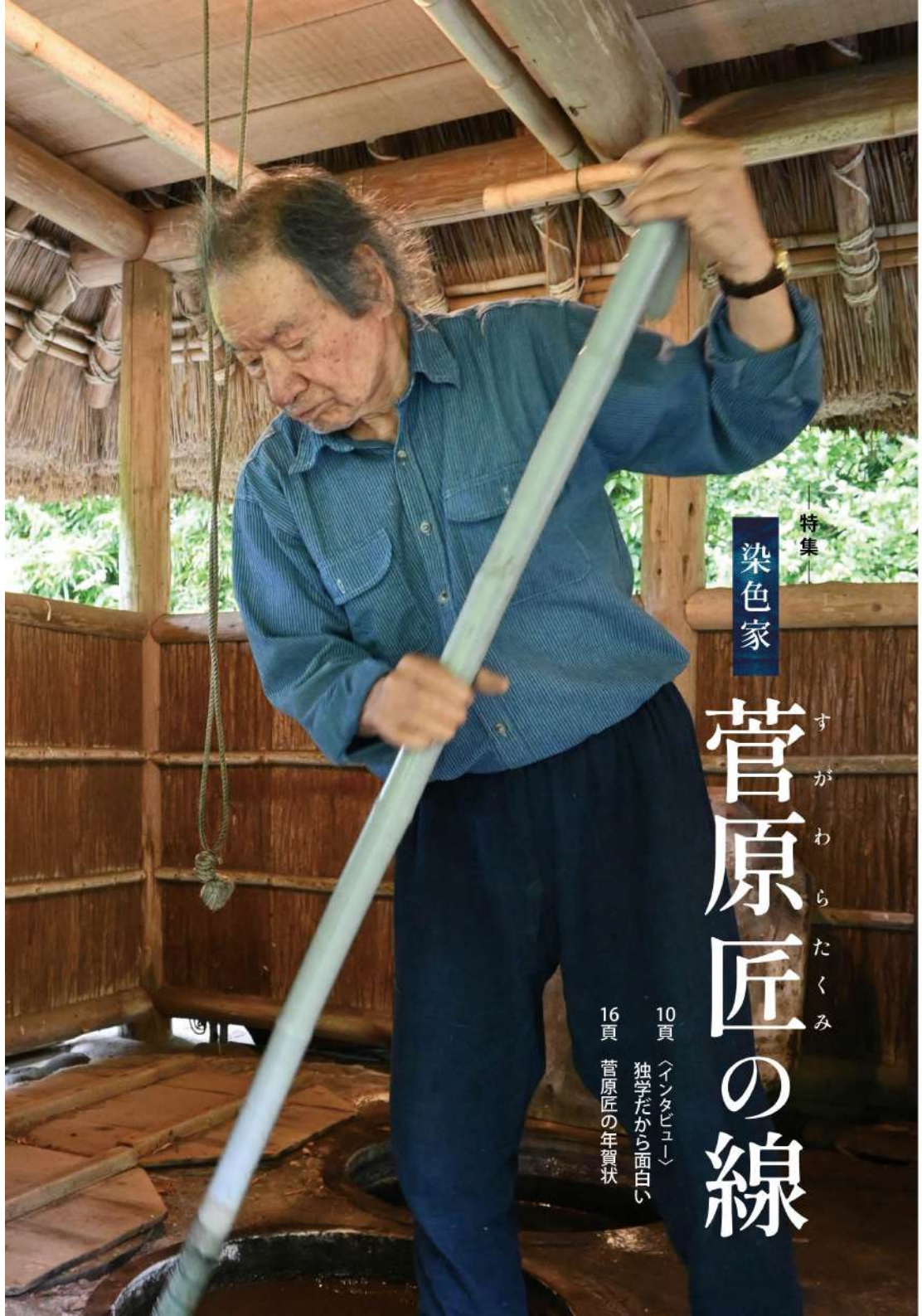
今月の「小池邦夫のことばカード」は

一人の火をたく

小池邦夫は一人ひとりの心の中にある「火」を大切にしていました。埋み火、灯火、燈火、炎……皆さんの心にはどんな火がありますか。



＊毎月裏表紙でご紹介するカードは編集部で「今月号に合うカードは？」と思いながら引いた1枚です。



特集

染色家

菅原匠の線

10頁 〈インタビュー〉独学だから面白い
16頁 菅原匠の年賀状

かいて、送って、みんなでおしゃべり

読者投稿 ひろば

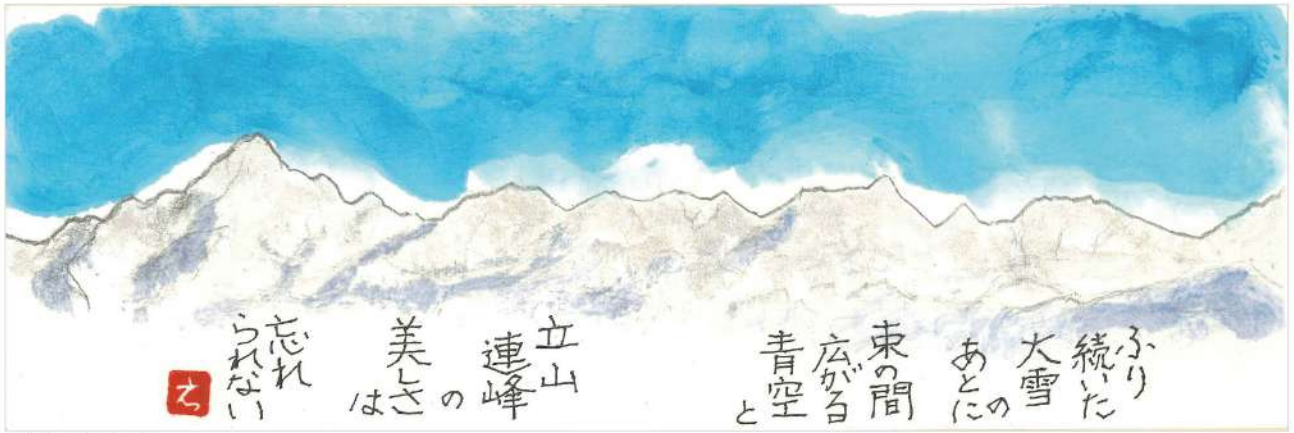
テーマ「空をかく」

どこでどんな毎日を送っていても、見上げればいつもそこにみんなの空

・自由絵手紙　・なんでも100字　・活動報告



伊藤里美（静岡）
夏の入道雲と秋のすじ雲。友だちにも教えてあげたい。



萬濃江里子（奈良）



松木明美（鹿児島）
雨の日風の日なんのその。凛と立つスカイツリーが大好きです。



村越美絵（静岡）
フレッシュな気持ちで1日をスタート。



西塚みゆき（愛知）
アジア競技大会の開幕を祝して、ブルーインパルスの展示飛行を見に行きました。



五十嵐いずみ（新潟）
久しぶりの晴天に一斉にコンバインが動き始めました。

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って
好きな時に好きな場所で
学んでいきましょう

小池邦夫の絵手紙



大島にある菅原匠さんの「藍風居（らんぷうきょ）」を訪ねて。小池邦夫が訪問した当時（1994年）は茅葺き屋根だった

こいけ・くにお
絵手紙の創始者。1941年（昭和16）愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいい ヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。